

# こんにちは ふくま健治です

活動報告ニュース  
2020年5月号

## 特別定額給付金は迅速に支給を



(財務部長室にて)

5月15日、党市議団と中部地区委員会は、新型コロナウイルス感染症対策に関する第2次の要望書を大分市に提出をしました。

●国民一人当たり10万円の特別定額給付金の迅速な支給。●小規模事業者などへの「持続化給付金」の手続きの簡素化と申請支援。●大分市独自の家賃補助も減収50%以下となっているが、40・30・20%以下も対象とすること。固定費にはカラオケリース代も認めること。●自動車税・軽自動車税の猶予・減免の実施。●住宅困窮者に自立の目途がたつまで、市営住宅の空戸を提供すること。などを求めて、財務部長に要望をおこないました。

## 国の第2次補正予算編成への要望

### 検査と医療体制を抜本的に強化する予算確保を



●必要なPCR検査に対応できるよう国立大学や民間の力も借り、検査体制を強化すること。●病院・介護施設、などはクラスターが発生しやすく

(5月1日、生健会とも要望) 感染リスク管理求められている施設関係者については、全員PCR検査の対象とすること。

### 「自粛と一体の補償」の拡充を

●雇用調整助成金は賃金の8割、上限30万円に引き上げる。●家賃の固定費は毎月支給できるようにすること。●学生への授業料半額補助を早急に支給すること。

財源確保として、市では、企業立地助成金、議員の費用弁償廃止、新型コロナ対策予算に財源を組み替えること。大分県に対して「検査と医療体制」「自粛と一体の補償」を要求することなども求めました。

## 新型コロナ対策一街頭から宣伝

5月8日、党大分市後援会は、宮崎交差点、わさだタウン、上野交差点、岩田公園の4か所で「自粛と一体で補償を」と後援会世話人などが訴えました。行きかう車から多くの激励をいただきました。私も同行しました。



(わさだタウン入り口にて)

大分駅北口、鶴崎商店街などで宣伝します。ぜひ、ご参加ください。

次回の宣伝行動は、6月13日(土)13時30分、地区委員会出発です。

大分駅北口、

## 風力発電現地調査・県とレクチャー



(縦ノ木山山頂にて)

4月末、風力発電を考える会・おいたのみなさんと計画画予定地の全体を見渡せる縦ノ木山(484m)に上り地形などを調査、



(県議会会議室にて)

5月19日、彦岳風力発電計画(17万kW)、大分南風力発電計画(津久見・佐伯・臼杵堺の尾根)について、大分県の担当3部局よりレクチャーをうけました。堤県議、花宮氏も同席しました。

## 生活相談日誌

- 新型コロナで派遣切り、ネットカフェも追われ、野宿生活の男性—生活保護を申請し、当面の生活費・住宅確保。自立へた向けての再スタートです。
- 夫からの暴力で入院中だった女性、公営住宅に入居が決まり、落ち着いた生活を取り戻しつつあります。

## ★暮らしや地域の要望をお寄せください

### ふくま健治生活相談所

大分市東大道3-2-6  
546-4505 (FAX兼用)  
携帯090-2714-5612

